



文化庁補助事業

2020年度 大阪能楽養成会

研 修 生

一般公募

第9期

募 集 概 要

将来の関西能楽界における後継者育成のため、大阪能楽養成会は文化庁の支援のもとに、大阪能楽養成会後援会・能楽協会大阪支部の協力を得て、能楽師として舞台上で活躍する志を持つ研修生を一般より募集いたします。

大阪能楽養成会

〒540-0005 大阪市中央区上町 A-7 大槻能楽堂内

TEL.06・6761・8055 (平日 10:00~17:00)

応募するにあたって

1. 応募手続き

(1) 願書受付期間

随時受付しております。

(第9期生は2020年3月6日まで)

午前10時から午後5時まで

(土曜・日曜・休館日を除く)

(2) 提出書類

1. 願書(所定用紙)
2. 履歴書(所定用紙・写真添付)
3. 住民票
4. 保証人(親権者)の同意書(所定用紙)
5. 写真二枚(履歴書添付のものと同サイズ)

(3) 願書受付場所

願書等、応募書類は大槻能楽堂事務所内・大阪能楽養成会事務局へ提出してください。

郵送による提出の場合は、必ず書留で、封筒の表に「養成会一般公募願書在中」と書き下記にお送りください。

〒540-0005 大阪市中央区上町A番七号
大槻能楽堂内 大阪能楽養成会事務局 宛

※なお応募書類は一切返却致しません。

応募で得た個人情報はこの件以外には一切使用しません。

(4) 受験料

無料

2. 受験票

書類選考通過者には一次選考1週間前までに郵送いたします。選考日当日に必ず持参ください。

3. 一次選考日

願書提出後、1ヶ月以内に行います。

4. 一次選考内容

面接および適正試験(簡単な実技)

5. 一次選考結果の発表

合格発表は一週間以内に電話または郵送にてお伝えします。

6. 研修開始日

開講式(4月中旬)より開始致します

但し、国庫補助金・助成金を受けており、正式研修生となるのは4月中に行われる開講式からとなります。

説明会開催

2019年6月6日(木)17時から
大槻能楽堂にて

2019年9月25日(水)17時から
香里能楽堂にて

2019年12月27日(金)13時から
奈良春日野国際フォーラムにて

2020年2月25日(火)17時から
大槻能楽堂にて

募集要項

1. 研修目的

この研修は能楽師になるための基礎・専門教育を行うことを目的とします。

2. 応募資格

15歳以上23歳以下で、心身ともに健康な者。将来プロの能楽師を目指す者。主要稽古場へ通学可能な者。

高校生・大学生の応募も可能

3. 募集科目

シテ方・ワキ方・囃子方 それぞれにつき若干名。

(2019年度では狂言方の募集は致しません。)

4. 募集期間

通年受付しております。

(第9期生は2020年3月6日まで)

5. 選考方法

書類選考、面接と適性試験(簡単な実技試験等)を行い選考します。

18歳未満については、同日保護者の面談も行いますのでご同伴願います。

6. 一次選考日

願書提出後、1ヶ月以内に行います。

7. 選考場所

大槻能楽堂

8. 選考委員

一般公募特別委員

9. 研修期間

2019年4月より

Aコース・4年間(予科研修1年・本科研修3年)

Bコース・6年間(予科研修3年・本科研修3年)

10. 研修日程

原則として毎週月曜日・水曜日。他に各講師稽古場での研修や初期段階における特別稽古有。

11. 研修場所

大槻能楽堂、朝陽会館。他、各講師稽古場。

12. 研修内容

各役実技・教養講座・発表会・楽屋研修・公演見学 等

13. 選考の流れ

一次選考合格者は、研修開始後、原則としてAコースは6ヶ月後、Bコースは9ヶ月後に最終選考を実施し、正式に研修生としての合否及び専科を決定いたします。不合格となった者は、研修生の資格を失います。

詳しい流れは右ページをご覧ください。

14. 受講料

無料

15. 修了後について

研修を修了した者は、専任講師指導のもと能楽師として歩むこととなります。

16. その他

研修生と認められた者には、研修中、大阪能楽養成会より出席に従う給付金の支給があります。なお、著しく研修態度に問題があり退会勧告を受けた者、および自主的に退会した者については、給付金の返還を求めることがあります。

選考の流れ（一次選考から最終選考まで）

書類選考

書類審査通過者に、一次選考日1週間前までに受験票を送付。



一次選考

●願書提出後、1ヶ月以内に行う。

面接(18歳未満は保護者同伴)、と適性試験(簡単な実技試験等)を行い選考。

合格発表は1週間以内に電話又は郵送にて。

○一次選考通過者は、開講式までに、予備研修を受講。
(但し、その間の交通費等の支給はございません。)



・・・集中的に研修をされたい方対象・・・

A コース

(予科研修1年・本科研修3年)

開講式 ●4月中旬

大阪能楽養成会開講式(於・大槻能楽堂)に出席。

- 一般公募生カリキュラムに基づく特別稽古(週2回程度)
- リハーサル等の見学
- 大阪能楽養成会発表会見学
- 夏休み期間の一般公募研修生特別稽古
- 校外学習参加
- 東西合同研究発表会見学



最終選考

●原則として9月下旬

合否決定、合格者は専門科目正式決定。

- 正式に研修生として大阪能楽養成会予科入会
- 専任講師のもとで本格的な専門科目研修開始
- 現役研修生としてすべての養成会事業に参加



以降は予科(1年)・本科(3年)、合計4年の課程を終了後、養成会を卒業。専任講師指導のもと能楽師として歩む。

・・・学校・仕事等の並用で時間に制約がある方対象・・・

B コース

(予科研修3年・本科研修3年)

開講式 ●4月中旬

大阪能楽養成会開講式(於・大槻能楽堂)に出席。

- 一般公募生カリキュラムに基づく特別稽古(週2回程度)
- リハーサル等の見学
- 大阪能楽養成会発表会見学
- 夏休み期間の一般公募研修生特別稽古
- 校外学習参加
- 東西合同研究発表会見学



最終選考

●原則として12月下旬

合否決定、合格者は専門科目正式決定。

- 正式な研修生として大阪能楽養成会予科入会
- 専任講師のもとで本格的な専門科目研修開始
- 現役研修生としてすべての養成会事業に参加



以降は予科(3年)・本科(3年)、合計6年の過程を終了後、養成会を卒業。専任講師指導のもと能楽師として歩む

主な研修内容（正式入会后）

予科	A コース	1年 月間 各科目 8~10回程度（平日はほぼ毎日） 他、各種実習・講座参加等
	B コース	3年 月間 各科目 3回程度（基本 月・水） 他、各種実習・講座参加等

本科	3年 専門科目を含め、専門科目毎に定められた科目を全て受講。 本科授業の終了は、必須科目の修得をもって修了とする		
	専門 科目	シテ方	シテ方の基本（謡・型）、仕舞、装束の扱い方と着け方、役者の心得、囃子（笛・小鼓・大鼓・太鼓）の基本と演奏
		ワキ方	ワキ方の基礎（謡・型）、仕舞、装束の扱い方と着け方、役者の心得、囃子（笛・小鼓・大鼓・太鼓）の基本と演奏
		囃子方	囃子方の基本（音の出し方や打ち方・手組）・楽器の扱い方・役者の心得・謡・仕舞の稽古
		狂言方	小舞（謡・型）、装束の扱い方と着け方、役者の心得、囃子（笛・小鼓・大鼓・太鼓のうち2科目）の基本と演奏 ※（平成31年度では狂言方の募集は致しません。）
	楽屋実習		楽屋作法等
	研究発表会		公開で年4回
	東西合同研究発表会		他地域の養成会との合同発表会 年1回
	稽古会		適宜開催（非公開）
	教養講座		教養を高める為、大学教授、能楽研究者による講義等
校外学習		能楽に関する芸術鑑賞や史跡等の見学	
公演見学等		能公演、他の研修生稽古見学など	

研究科	本科修得後の各科目をより深く極めるものとする
------------	------------------------

<p>●研修生の心得</p> <p>当会の研修生となる者は、将来にわたって能楽を職能とすることを目指し、一途にその修行に邁進することを誓える者とする。</p> <p>（大阪能楽養成会研修生入会要項より抜粋）</p>	<p>●出席の義務</p> <p>研修生は養成会の授業・行事に出席の義務がある。研修生毎の出席表は、講師が管理し、3ヵ月毎の出席状態によっては、退学処分に付すこともある。</p>
---	---